

メモリアルフォトスポットがオープン ～市役所市民ホールで記念撮影を～

河内長野市では、市役所庁舎1階の市民ホールに、戸籍や住民票などの届出に訪れた方（カップルや転入者など）が気軽に記念撮影のできるメモリアルフォトスポットをオープンしました。

このフォトスポットには、普段なかなか訪れることのできない滝畑四十八滝の一つ「荒滝」（落差約10メートル）をバックに、市のシンボルキャラクターであるモックルが等身大で描かれた大型タペストリーを設置しました。

この取り組みは、島田智明市長が、婚姻届などで市役所を訪れたカップルの多くがスマートフォンなどで記念撮影していることに気付き、流行の「インスタ映え」を狙って、効果的に本市の魅力をPRできるタペストリーの設置を指示したものです。

河内長野市では、人生の節目に、「インスタグラム」などのSNSで写真を投稿してもらうことで、まちの自然の魅力をカップルや転入者などに身近に感じ、愛着を持ってもらうとともに、多くの方に、まちの魅力を感じてもらおう試みです。

なお、南河内最大級で自然体感型のフォトスポットです。

- ・タペストリーのサイズ：
高さ 2.4メートル
幅 3.0メートル
- ・撮影可能な時間帯：
開庁日・開庁時間
※基本届出時にはいつでも可能



問い合わせ 総合政策部 広報広聴課
電話 0721-53-1111